

石山天空橋



発注者	大分県 別府土木事務所
形式	単純下路式ニールセンローゼ桁橋
橋長	橋長:172.500m、支間長:170.350m、有効幅員:9.500m
鋼材重量	製作・架設:1,258t
架設工法	ケーブルクレーン斜吊り工法
完工	平成 29 年 3 月
特徴	<ul style="list-style-type: none">・主要地方道大田杵築線は、旧大田村と杵築市を結ぶ重要路線であるが幅員狭小、線形不良、急勾配により交通の安全性に乏しく地域間交流の障害となっていた。その障害を解消し県北地域の活性化のために整備を進めている大田杵築線のバイパス工事の一環として、石山ダムを跨ぐ箇所に周辺の景観に調和した形式としてニールセンローゼ橋が計画された。・架設はケーブルクレーン斜吊り工法を採用し、平成 28 年 3 月末にアーチ部、6 月中旬に補剛桁の架設を完了した。その後、ケーブル設備の解体、床版工事を行い平成 29 年 3 月に竣工した。